

平成 26 年度 地域スポーツクラブシンポジウム 実施報告

2014年6月28日（土）東京体育館 第1会議室

テーマ： 「共に考える時間がここには有る～原点と未来の共有～」

総合型地域スポーツクラブの育成施策の展開が始まり 10 年が経過しました。東京都内では 116 クラブが日々活動していますが、さらにクラブが成長するためには、クラブの理念が会員の中で共有され、地域の人々にも伝わるのが重要です。そこで、このシンポジウムは、特別講演とワークショップを通して、改めてクラブの設立の理念を見直し、クラブが持続可能な発展を遂げるための長期的なビジョンを描くきっかけとなることを目的として開催されました。

【特別講演】

- 「元スターバックス CEO が語る ミッション・ビジョン・パッション」

岩田 松雄 氏（元スターバックスコーヒージャパン(株)最高経営責任者）
（リーダーシップコンサルティング代表）

スターバックスで、「100 年後も輝くブランド」を目指して、安定成長へ方向転換、業績を向上させた、元スターバックス CEO 岩田氏の豊富な経験が基になった、ミッションやリーダーとしての心構えに関する講演でした。組織を運営する人は、リーダーシップだけでなく、何のためにその組織が存在するのかというミッションを明確に持つことが大切であり、また、「好きなこと・得意なこと・何か人のためになること」この3つが重なる中心がミッションになるとのお話でした。ミッションは違う価値観を持つ人の間のゴールとしての役割となり、さらに、ミッションを高く掲げることは他者に共鳴させる機会を増やし、人が集まりやすくなる効果があることが語られました。

【ワークショップ】

- 「原点と未来」を共有するワークショップ

高岸 祐幸 氏（一般社団法人 あきる野総合スポーツクラブ「ASport」理事長）
徳田 太郎 氏（つくば市民大学 代表幹事）

高岸氏が理事長を務める、「ASport」の事例紹介を軸に、ワークショップが行われました。徳田氏の進行は自身の経験談を事例に当てはめながらであったため、イメージがしやすく、また、参加者同士の壁を溶かしていくような作用がみられた。

ミッションの共有方法について、高岸氏は、口コミによる広がり最も効果的であり、クラブのコンテンツは会員の口コミの見出しと成りえるものを心がけ、会員が広報活動をしやすいサポートを行っているとお話されていました。実際に参加者がミッションを再確認、構築、さらに共有方法を考えるグループディスカッションする場が設けられ、参加者同士の積極的な議論が展開されました。

今回のシンポジウムでは、クラブの原点を見つめ直し、これからのクラブの未来を考えるため、「ミッションとビジョンは何か」に焦点を当てられました。岩田氏、高岸氏が共通して述べていたように、ミッションは後継者を育て、クラブ(団体)の長期的な発展に繋がります。今後も、クラブがさらなる成長をする大きな要素として、ミッションとビジョンについて考える必要があります。

